



さわりび保育園年報 第13号

2023年(令和5年)9月1日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会
さわりび保育園

〒813-0031福岡市東区八田4-6-5
<http://www.hojinkai.ed.jp/sawarabi/>



どうする「保育士配置基準」 理事長 大浦 純平

政府が年頭の記者会見で掲げた「異次元の少子化対策」に大いに期待を寄せていました。首相は少子化対策を含むことも関連予算を倍増する考えを従来から示しており、いよいよ始まるのだと身震いがしました。

中でも私が期待したのは職員配置基準の見直しです。当初、政府は「たたき台」において、「75年ぶりの保育士の配置基準改善」を明記し、「1歳児は6対1から5対1へ、4・5歳児は30対1から25対1へと改善する」としていましたが、手のひらを返すように「雇用が間に合わず、保育現場に混乱が生じる可能性がある」などとして撤回しました。

近年、「0歳児は6対1から3対1」「3歳児は20対1から15対1」と改善されてはいるものの「4・5歳児」と「1・2歳児」の配置基準は手つかずのままです。

右表(OECDによる)は世界の配置基準の比較表ですが、日本の厳しい状況がお分かりいただけると思います。更に言えば、国の改善案の「4・5歳児の25対1」という数字は外国の現状と比較して見れば、まだまだ改善とは程遠い数字です。

	日本	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ
0歳児	3人		4人	3人	5人 ~ 6人
1歳児	6人		5人	4人	8人
2歳児			7人		
3歳児	15人		8人	13人	15人
4歳児	30人		9人		
5歳児					

『悲しい事ですが、世間では今、「不適切な保育」が取り沙汰されています。保育関係者が真摯な姿勢でその根絶を目指すのは当然ですが、その一因がこの配置基準にあるとすれば由々しき問題だと言えなくありません。』

しかし、6月16日に閣議決定された『経済財政運営の基本方針2023(いわゆる「骨太方針」)』では、「少子化対策・こども政策の技術強化」の中で「職員配置基準の改善も見据え、保育人材の確保の強化と現場の負担軽減を図る」と明記がされたことは救いではありません。今後の予算化について期待しつつ注目していかなければなりません。

少子化は、経済の成長力の低下をもたらすとともに、年金・医療など社会保障制度の安定性を揺るがすものです。この点から「静かなる有事」とも呼ばれています。遅きに失した感否めないものの、現政権がようやく少子化対策に本格的に力を入れ始めたことを多いに歓迎したい。



(元 さわりび保育園 保父 / つばみ保育園 園長)

コロナが感染症法上の5類に移行し、世の中が元の日常に戻り始めています。人々がマスクを外し、心置きなく語り合い食事を共にし一緒に歌える、こんなことに喜びを感じます。

三園でも親子保育や一日保育士が復活し、保護者の方から園での子どもの生活の様子を見ることのできる嬉しい」とのお声をいただきました。離れている間の我が子の姿を知りたい、という思いは当然です、これまででもかきかたことでしょうか。3年間、園内の様子を見て頂く機会は激減でしたが、例年と変わらぬ

目と目を見つめ合って

統括次長 大浦まゆみ

人がどの保育士なのか誰のお母さんなのかわかっていました。すべいなあと思います。乳幼児が人の顔を認識する時にまず注視するのは、自分に



大人にしても、目と目をきちんと見つめ合って話をすることが、コミュニケーションをとる上でとても大切なことだと改めて思いました。

豊かな経験をとの思いで職員皆で開わり、子どもたちは年齢にふさわしい成長を遂げてくれたと思います。マスクがあっても子どもたちはこの

向けられた視線がそうです。そして目の表情から人の感情を読みとることを覚えるのでしよう。顔の表情だけでなく声のトーンや身体の仕草、心地よさ、自分自身が愛されていることを感じるでしよう。

「笑顔」と「安心」が当たり前な生活を 2023年度 父母の会 会長 井関 可南子

今年度より会長を務めさせていただきます、井関可南子と申します。父母の会四役としては3年目となります。



長女がさわりび保育園に入園してから5年目となりましたが、入園した年はコロナ前という事もあり、色々な行事に参加することが出来たのですが、2年目以降はコロナウイルスの影響で、なかなか行事に参加出来ずにいました。その後こんなにも長くコロナの影響が続くとも思ってもおらず、行事に参加できないまま卒園していった子供たちも沢山いるかと思うと、やるせない気持ちになります。

そんな中ではありますが、ようやくコロナ前に戻りつつあり、父母の会としては5月にさっそく書面ではなく集まっての総会、親子交流会を行うことが出来ました。交流会では「気軽に情報交換できる場、子どもたちが楽しめる機会がもっとほしい」という意見が多く、みなさんが色々な思いで「子どもたちの為に何か出来ることはないか」と常に考えており、「保育園」という安心できる場で、子どもたちが楽しみながらも保護者同士が情報交換できる機会をもっと増やしていきたいと改めて感じました。今年は徐々にコロナ前

頃のような活動を行いたいところですが、まだまだ慎重に・・・といった状況でもあります。それでも限られた園生活の時間の中で、限られた行事の中で、子どもたちに何か一つでも多くの楽しかった思い出を残してあげられるよう、保護者全員で父母の会を盛り上げ、その中で子どもたちとの思い出を沢山作って頂けたらと思っています。

コロナウイルスの影響で、ここ数年の生活はがらっと変わってしまいましたが、全てが悪い事だけではないなかつたと思うので、良い変化はそのまま残しつつも、笑顔と安心が当たり前だった日々早く戻ってくれたらと感じており、子どもたちはこの数年の変化をどう感じていたのか、受けた影響がどれだけのものかは計り知れませんが、いつかは「“コロナ” そんなのあったかー！」なんて言えるくらい、コロナウイルスの影響を感じさせないくらい、子どもたちの沢山の笑顔が増えていくと信じております。

これからも子供たちの笑顔とパワーがみなぎる園生活となるよう努めてまいりますので、今後とも父母の会及びおやじの会を宜しくお願い致します。

「共に育ち合う場所として」

園長 三笠 良子

保育園の大切な役割は子ども達の毎日を見守り、保育園の生活の中で成長を保障していくこと、そして、保護者の方々の子育ての支援を行うことです。私たちは「子育ての不安・悩み」に寄り添い「子育ての喜び・楽しみ」に共感していきまします。子どもが保育園で悲しい思いや、寂しい気持ちでいる時、保育士は泣く子どもを抱っこし心を癒し慰めます。心を立て直す子どもを待つだけでなく、不安定な気持ちから「保育園で発熱、家に帰ると解熱を繰り返しているお子さんの姿が見られます。そんな不安定な状態もいつかは穏やかに安定してきます。保育園からの、電話に「またか。」と思われることもありますが、先輩の保護者の方々の中には、「うちもそうだったよ。」「そのうち強くなるよ。」という方もいらつしやることだと思えます。そんな言葉に励まされますね。家庭で過ごすお子さんの姿と保育園でのお子さんの姿には同じところもあれば違うところもあります。お互いが協力し、保育園が子どもも大人も育ち合うそんな場所でありたいと思います。



今年度より副主任をさせて頂いたことになりました。副主任保育士とは：ライン職と呼ばれ、園長・主任からの指示を現場の職員へ、または現場の声を管理職へ伝えるなどパイプ的な役割があったり、自分の保育だけではなく、園全体の保育と広い視野を持つことが求められています。調整や後輩育成が求められています。と調べると書かれています。出来ていない事の方が多いですが、一つ一つの事に向き合いながら、園長先生、主任の先生をはじめ、いろんな年齢の職員とのコミュニケーションを大切に、難しいこともあるかもしれませんが、自分が求められる役割を果たせるよう努力していきたいと思っております。



副主任保育士になって
副主任保育士 楠本勝馬

登園・降園 様子

新型コロナウイルス感染症が5類に移行すると共に保育園の中も少しずつ変化していきました。

職員も保護者の方もマスクを外すようになりました。マスクをしている期間が約3年ほど、外した時は子ども達も含めて保護者の方でも『はじめまして』の様な不思議な感じでしたが、表情もよく伝わり新しい生活様式になってきています。保護者の方の送迎も各家庭一人ではなくなったので、時々兄弟児の子達も一緒に

にお迎えに来るようになり、少しずつ賑やかさも戻ってきています。(荒津)



一日保育士月間

6月に、年長クラスの保育士月間を開催しました。3年間で止になっていた保育士月間、今回は4年振りの開催となりました。今の青組さんでも、4年前はまだ1歳。「お母さん先生？お父さん先生？」とはじめは不思議そうにしていましたが、保育士月間が始まると大喜びで、参加していただいた保護者の方と楽しく遊んだり、お喋りを楽しんだりする姿が見られました。「子ども達が保育園でどのよう過ごしているのかを知る良い機会となりました」「娘が喜んでくれて嬉しかったです」など、たくさんの感想をいただきました。

(友田)



少しずつ取り戻す日常…

～新型コロナウイルス5類移行～

私たちが保育士も久しぶりの感覚に少し戸惑いながらもいい経験をする事ができました。みんなと和気あいあいとした時間を過ごすことができ、とても楽しかったです。(中村)



親子歓迎遠足

快晴に恵まれた土曜日、4年ぶりに海の道海浜公園で親子歓迎遠足を行うことができました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年間の中止となり、子ども達、保護者だけでなく保育士も初めて参加するという人が多かった今回の歓迎遠足。この機会を利用し、もう一度内容を精査してより楽しいものに出るよう工夫しました。当日はレクレーションやゲームなど親子でたくさん触れ合える企画を考え、保育士と保護者との信頼関係構築のよい時間となりました。また、みなさんとも楽しんでいただき、私たち保育士も久しぶりの感覚に少し戸惑いながらもいい経験をする事ができました。みんなと和気あいあいとした時間を過ごすことができ、とても楽しかったです。(中村)

お泊り保育

4年ぶりのお泊り保育。お泊り保育にドキドキしているのは、子ども達だけでなく大人も一緒でしたが、子ども達は笑顔いっぱい楽しんでる姿が印象的でした。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、間もない中での行事ということで、一つ一つの活動への衛生的配慮などを職員間で何度も話し合いながら計画を進めていきました。当日はカレー作りや記念品作りをしたり、みんな一緒に夕飯を食べたり。夜は出し物や園内かくれんぼを楽しむことができました。少しずつ日常を取り戻していく中で、さわらび保育園もお泊り保育を計画し、子ども達の笑顔が輝く行事ができたことをうれしく思います。(下川)



コット使用開始

今年度より「コット」の使用が始まりました。コットは布団に比べ少しだけ高さがあるため床に直接触れず快適に眠れそうです。また、通気性も良くも考慮して導入されることとなりました。

初めてコットで眠るときは、「自分の布団ではない！」と躊躇する子もいましたが、いざ寝てみるとぐっすり眠ることができずぐに慣れていきました。今では自分の掛け布団を見つけた、「自分の眠る場所」と横になり眠りについていきます。また、コットの中で寝がえりも上手にうちながらすやすやすと眠っています。少しでも快適にゆくりと体が休まるよう環境を整えていきたいと思えます。(串尾)



2023年度 職員構成

(8月1日現在 48名)

園長 三笠 良子

主任	荒津 佐知子
主任	中村 一星
副主任	楠本 勝馬
給食主任	渡邊 和
事務主任	林 美由起
もも組	原口 直美・久保 香織 福山 ひとみ
うめ1組	小林 千春・朴木 千佳子 柳 孝恵
うめ2組	平河 奈緒子・渡辺 久美子 前車 智子
さくら1組	中村 一星(※)・久積 未羽 飛来 弘子
さくら2組	湯之前 駿司・松田 雄紀 中島 千賀子
さくら3組	串尾 由依・古澤 真奈美 山下 鈴華・林田 亜由美
年少フリー	佐野 美奈子・柴藤 彩 古賀 美夏・松本 奈緒美 小山 舞
フリー	薄 一美
なのはな組	東 美早緒・藤田 海夕
たんぽぽ組	下川 加南子・佐藤 由佳
すみれ組	友田 美桜・大鶴 彩夏
れんげ組	楠本 勝馬(※)・鎌田 眞理
つくし組	磯 志穂美・安部 菜白
保育補助	堤 見子
給食員	渡邊 和(※)・福島 千春 串崎 美津代・郷良 小百合 神田 英里香・齋藤 豊子 南 真紀子・西原 ひろ子
用務員	倉員 明日香 (※は再掲)

2023年度 父母の会役員

会長 井関 可南子 (つくし)

会長補佐	三根 一晃 財前 泰佳	つくし すみれ
書記	副島 綾香 三根 一晃(※)	さくら2 つくし
会計	石橋 董 風間 圭代	さくら1 たんぽぽ
監査	河野 小百合 平 結	なのはな なのはな

(※)は再掲

園内研修

～学びを深める～

毎月、職員間で園内研修を行っています。園内研修では、子どもの姿や出来事を記録にとりそこから読み取れる子どもの気持ちや援助の在り方を学ぶ「エピソード」、事故につながるがっかりない出来事を文章にして報告しあう「ヒヤリハット」を始め「不適切保育」についてグループに分かれて自分の思いや考えを伝え合うなど、保育の質を向上させるとともに情報を共有し、様々なことを学んでいます。

先日、東警察署の方から「防犯対策」についてお話を聞く機会も作りました。「職員が不審者役をして、不審者の対応の訓練を行うのが良い」とのことだったので、訓練を計画し、どこに気をつけた方がよいのか、意見を出し合い、いざという時に落ち着いて行動できるようにしていきます。(原口)



おやじの会

2023年度 おやじの会会長 財前友輔



おやじの会代表の財前です。おやじの会では、毎年さわらび保育園の行事をお手伝いさせてもらっています。行事の中で、同じTシャツを着て1番楽しそうにしているおやじの集団、それが「おやじの会」です。主な活動は、プール掃除、夏フェスタの出店の手伝い、運動会の準備、親睦会等です。そんなおやじの会ですが、子どもの卒園と同時に、おやじの卒業が発表され、脱退が続いている為、365日メンバーを募集しています。おやじは皆仕事をし

ていて、家族第一をモットーとしているので、無理のない範囲で行事のお手伝いをしていきます。せっかくの休みは家族と過ごしたい、仕事で休めない方でも大歓迎です！子どもたちがいつもお世話になっている保育園に少しでも恩返しをしながら、おやじの輪を広げてみませんか？よろしくお祈りします！

